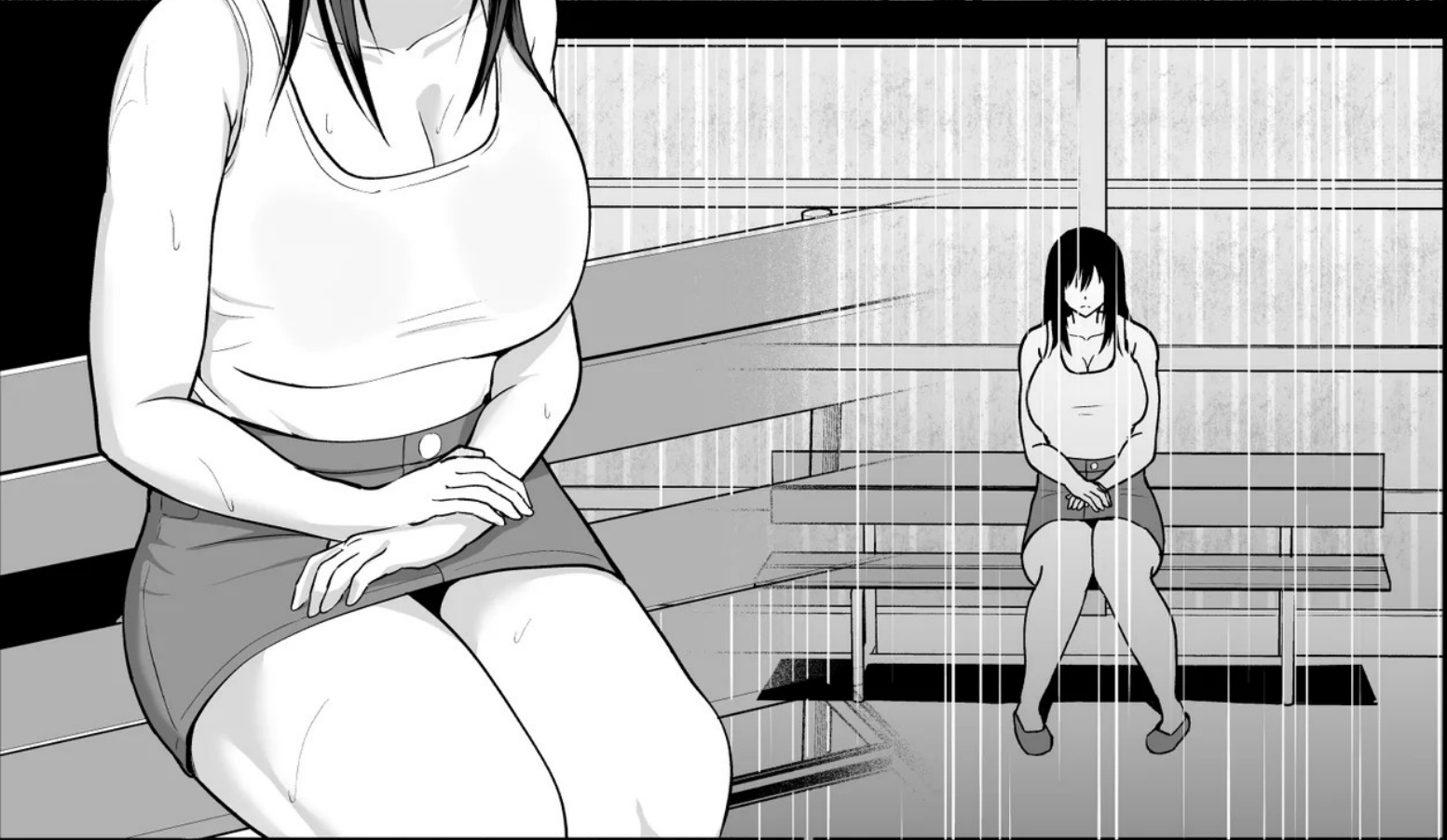




ア マ ヤ ド リ

—女宿り—





ありふれた
恋人同士の喧嘩



ただ
その日は少し
激しかっただけ





口をついて
出た言葉…
その言葉を
聞かれてしまった
のだろうか

ビシヤ





グー
あ



確かに
それは人の形を
成していた



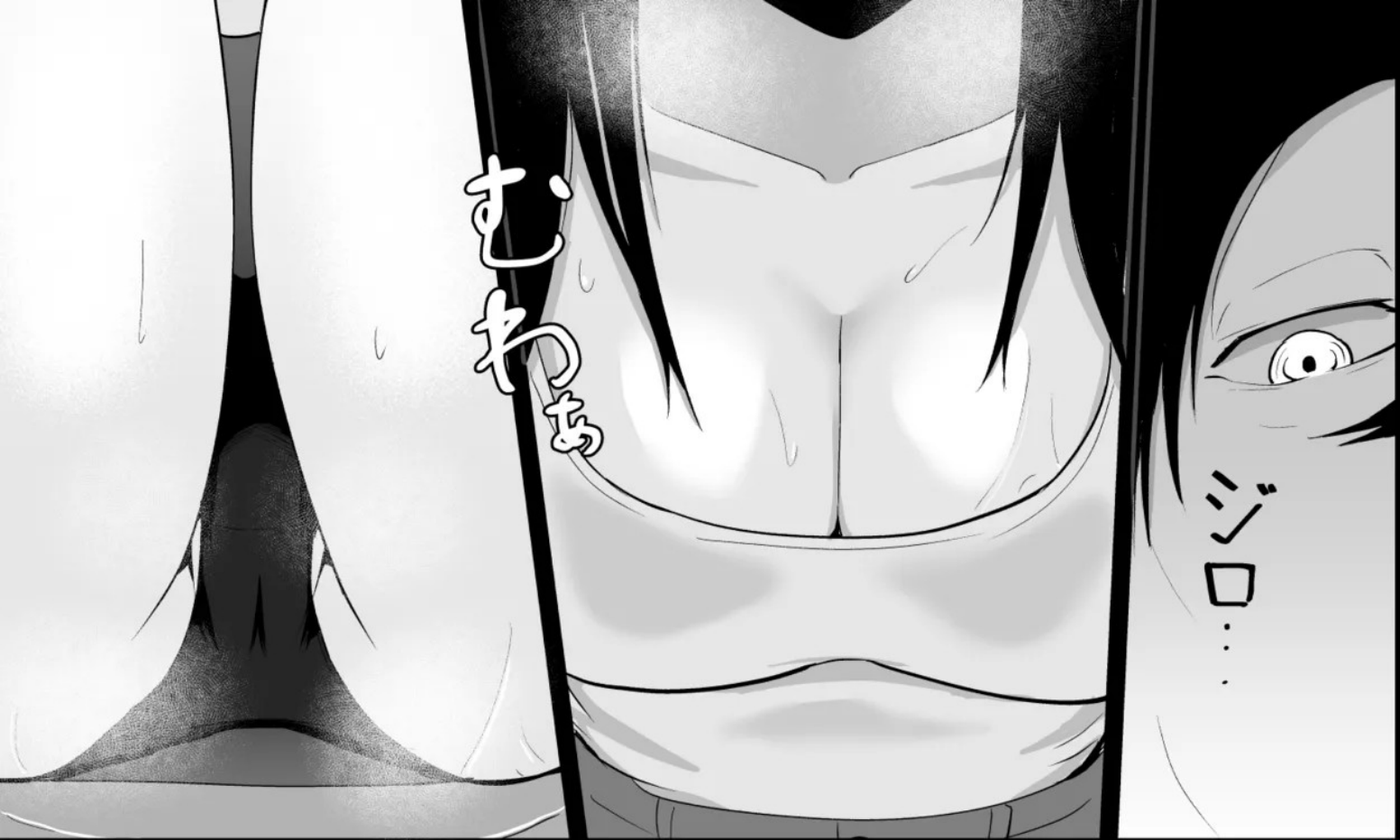
それは
決して
人ではない



しかし
異様な雰囲気から
気取ることができる



人
ならざる
もの



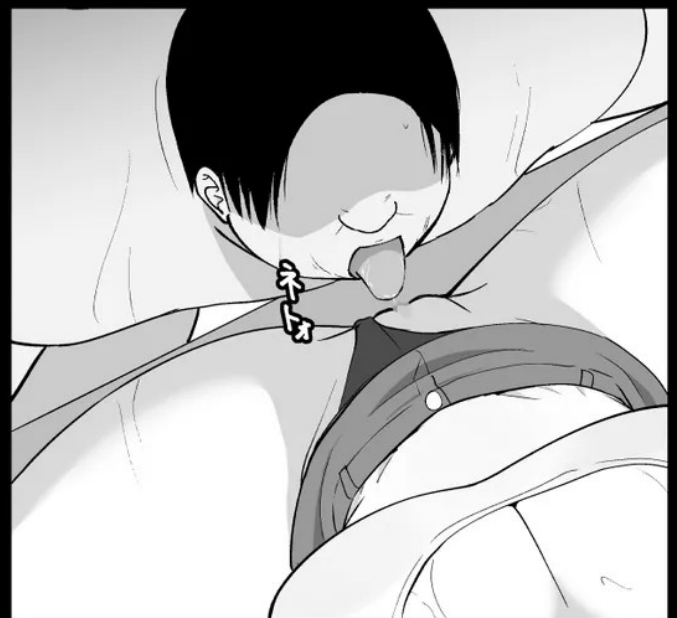
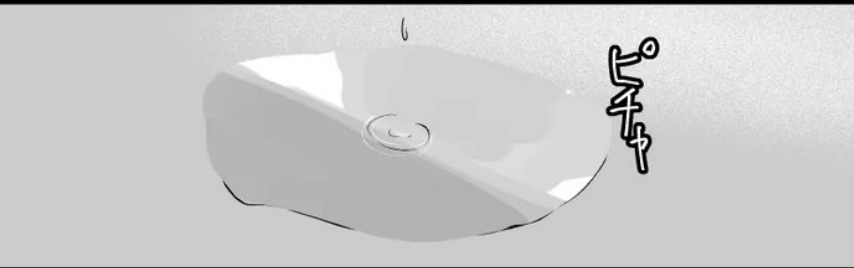
私は
この時既に
魅入られて
しまっていたの
かもしれない

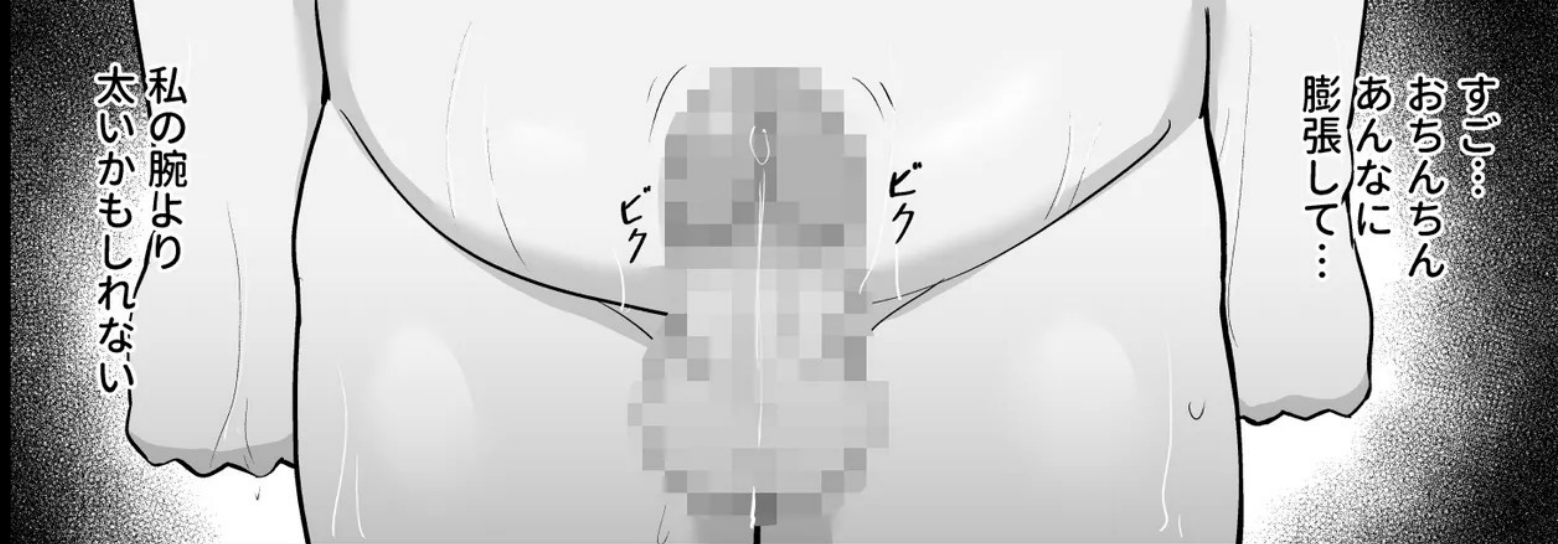
もしかして
ここ…
舐めたいの…？

キラ

はぁ







すご…
おちんちん
あんなに
膨張して…

私の腕より
太いかもしれない



舐めたい

舐めたい

舐めたい



はぁ



ゴク



ああ
体が勝手に
吸い寄せられていく

おちんちんを
舐めたいという
衝動が抑えられない

すっ
臭い…

ドキ

んあ…

ドキ

そそり立った
肉棒への誓いを
立てるような口づけ

立派な男の象徴を前にして
女の私は
屈服せざるを得ないのだと
本能が悟る

エラも
パンパンに
張っていて
たくましい…

ロー

むせかえるような
臭いのおちんちんを
舐めていると
頭がボーっとして
思考が奪われていく



もっと
気持ちよくなって
もらうために
奉仕しなくちゃ...

金玉
ずっしり重くて
精子たくさん
詰まってそう

グウ...

ビク
?





一度の射精で
どれだけ精液
出るわけ…!!





こんなに濃いの中に出されたら
どうなっちゃうんだろう

絶対に
孕んじゃうよね…

どろお



越えてはならない
一線だとは
わかっている

でもアレ…
あの大きいモノが
欲しくて欲しくて
たまらない

ドキ

トキ

本当に
シちゃうんだ…
人でもない
相手と…

ひく

くる
……!!

くちゅ

ギョッ

ドキ





ヌー

抜く時に
膣内まで引きずり
出されそうになる

ズル...

深...っ♡

ぐあっ!!

ズブッ

ごめん
なさい...

ボン...

なんの
謝罪だろう

彼以外と
交わっている
懺悔か

ごめんなさ
あ

ごめんなさ
あ

それとも
言い争いの末
言い出せなかった
謝罪の一言か

いずれにしても
彼にはもう
届けられないかも
しれない

だって
……

……
あ





も、もう
お腹いっぱい

子宮に精液が
びちゃびちゃ
かかっているのが
わかる

どっぴ
どっぴ

すごい…
人との
セックスと
全然違う…

グイ



せつかく
膣内に注いで
もらったのに

ドボォ

どっ

ドボォ
ドボォ



もったい
ない…



ねえ

もっと
気持ちいい
とこに
連れて行って
くれる…？

得体の知れないモノとの
セックスなのに
どうしてこんなにも
愛おしいんだろう

ズブ

ズブ

さっきみたいに
子宮に直接精液
かけてほしい
。。。。

んあー

ロロロ

ッー

濃い子種で
赤ちゃん
孕んで
しまいたい

とろろん



ねえ 私
あなたの赤ちゃん
産みたく
なっちゃった…

だから…
また膣^{なか}内に出して
ほしいの

妊娠させて
…?

ギュー



でも全然
不快じゃない
むしろ

気持ち
いい…

ヌチ…

ヌチ…



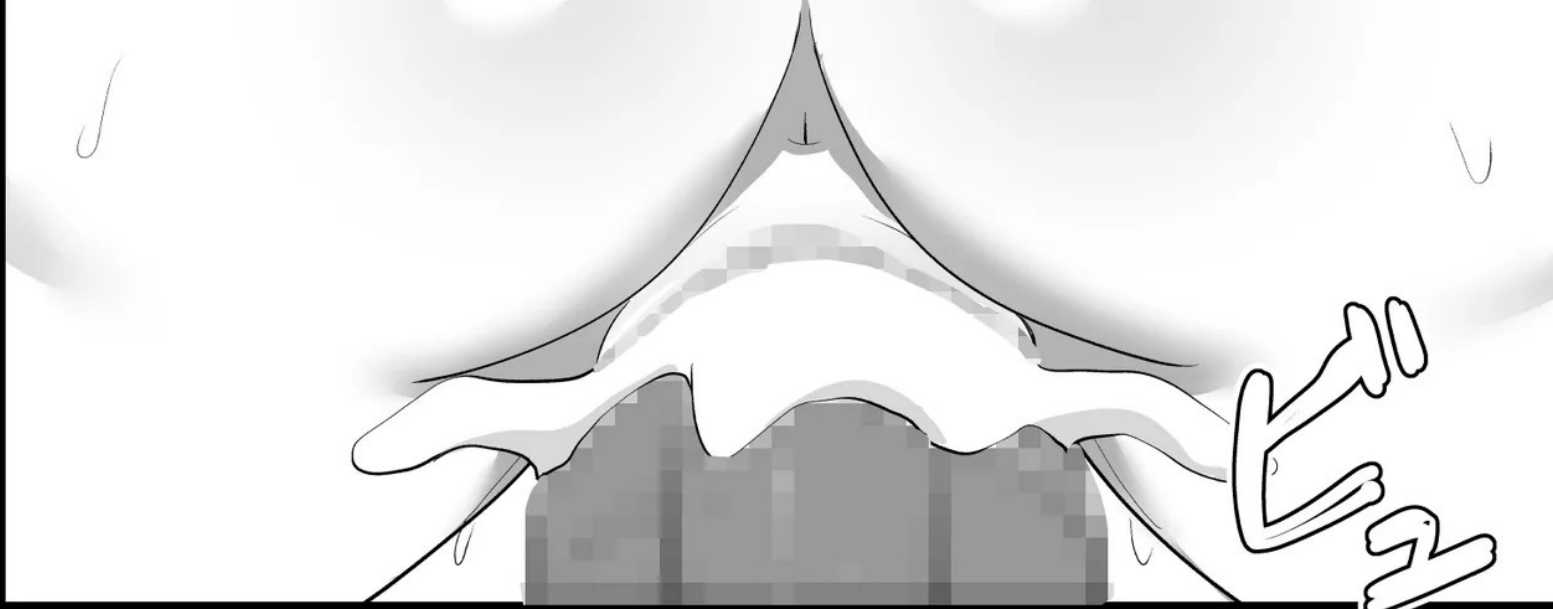
ギュー



むぐ…

ヌルヌルで
ブヨブヨした
肌がまとわりつく





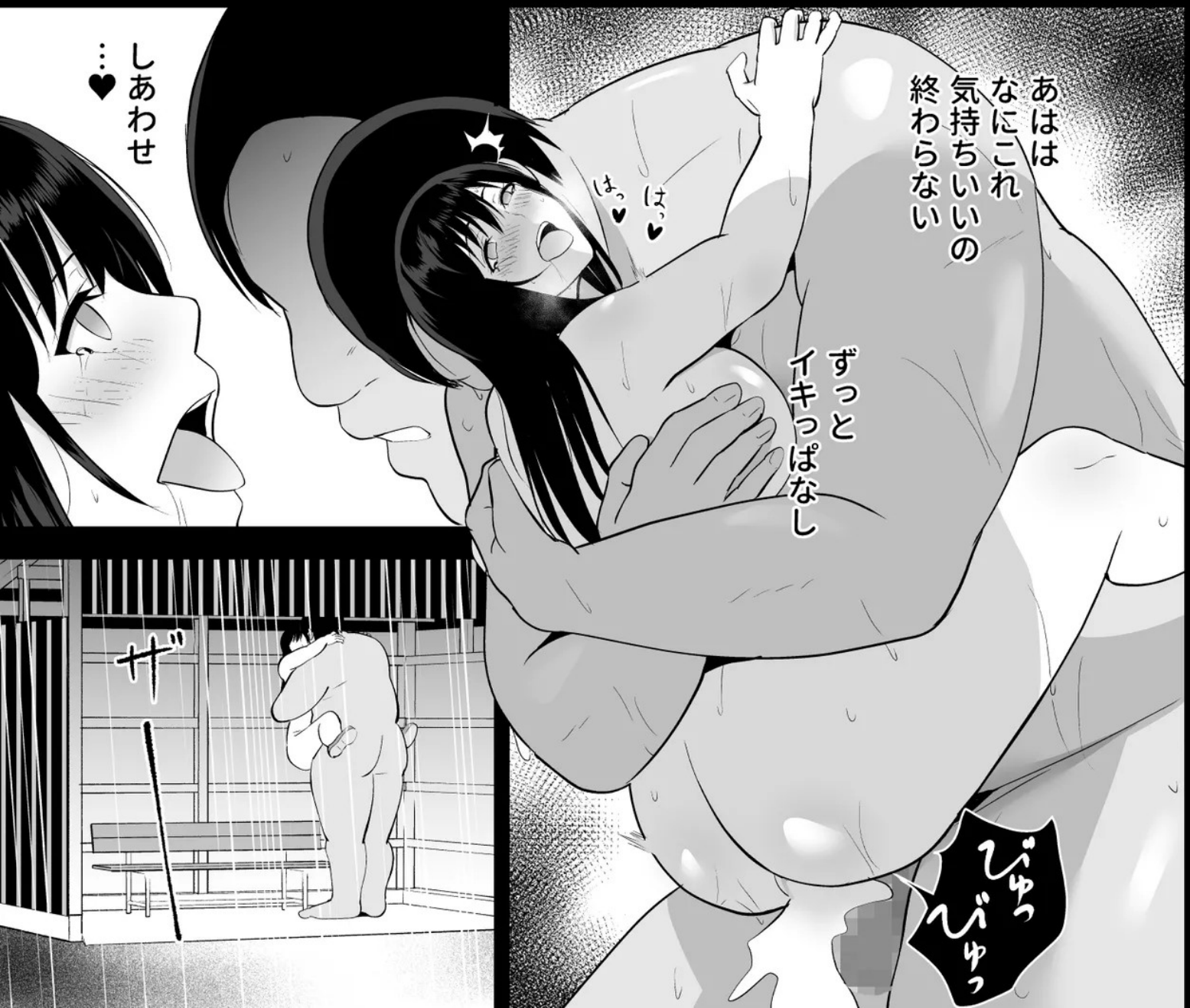
あっ…
これ確実に
着床する…
♡♡

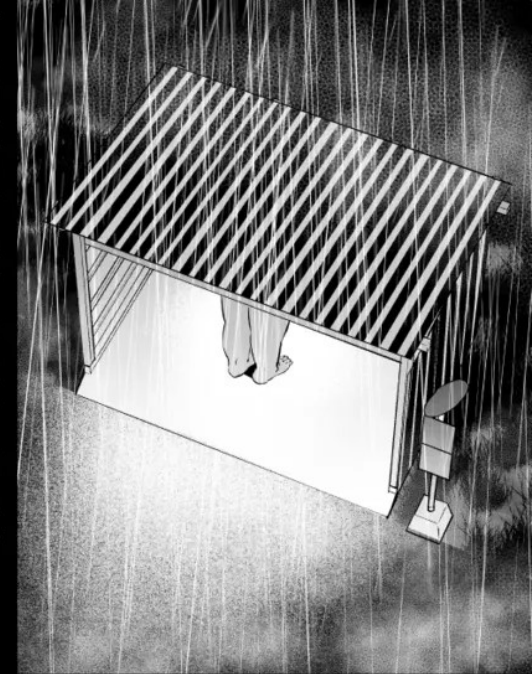
…
♡
すごお
もっと
びゅーびゅー
出してっ♡

子宮口に精液
すりこませて!!

ビュルル

キーン



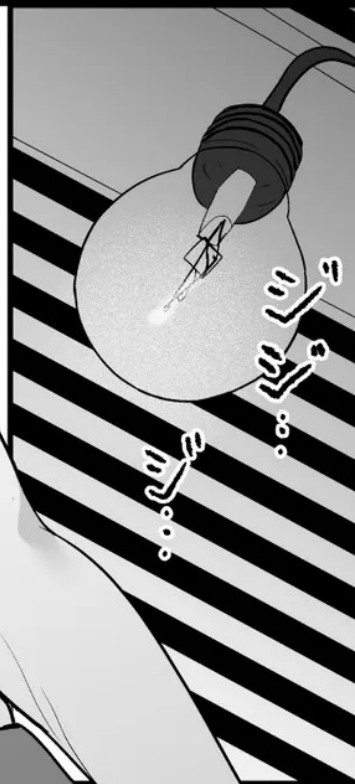


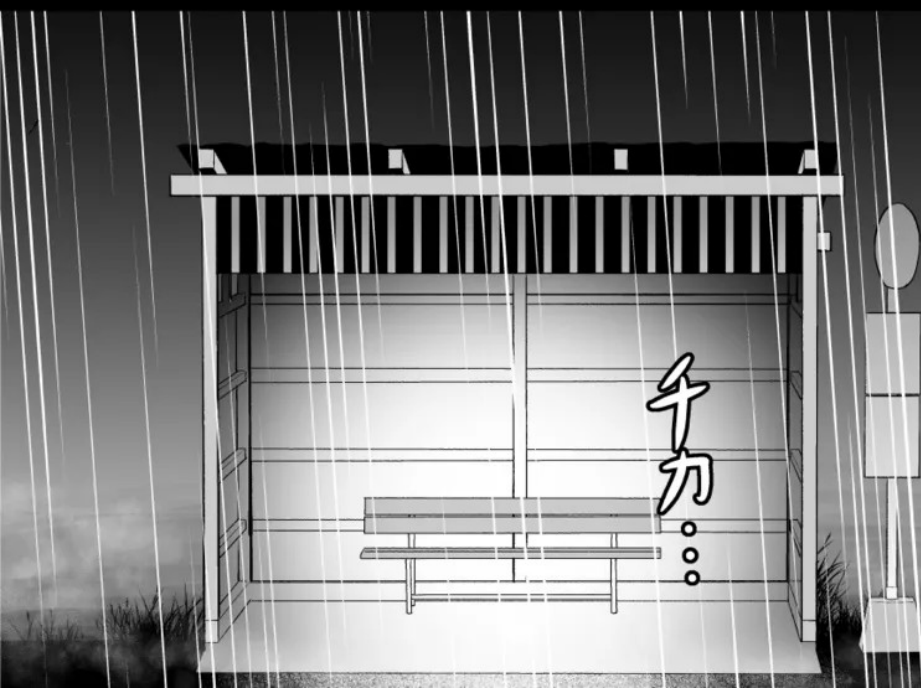
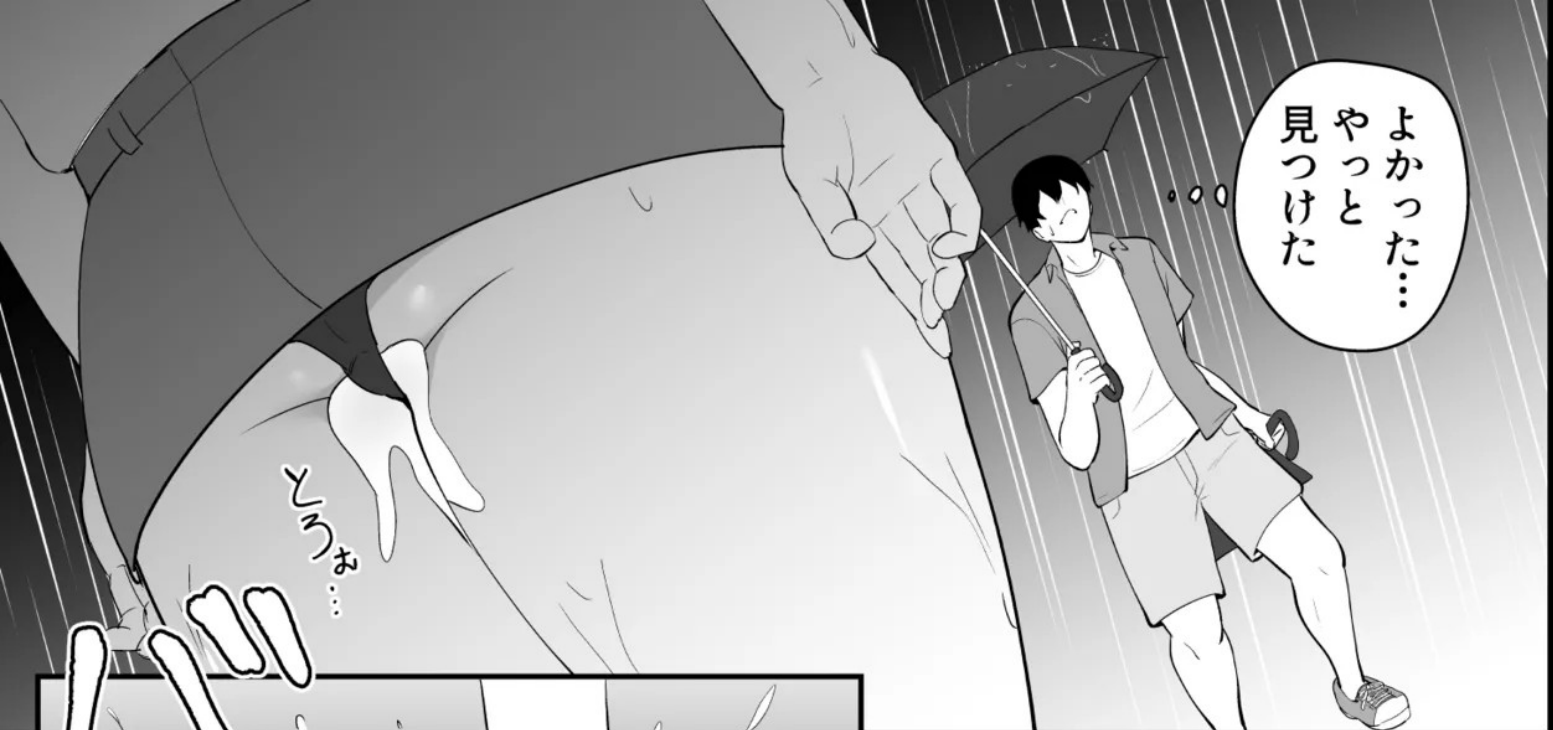


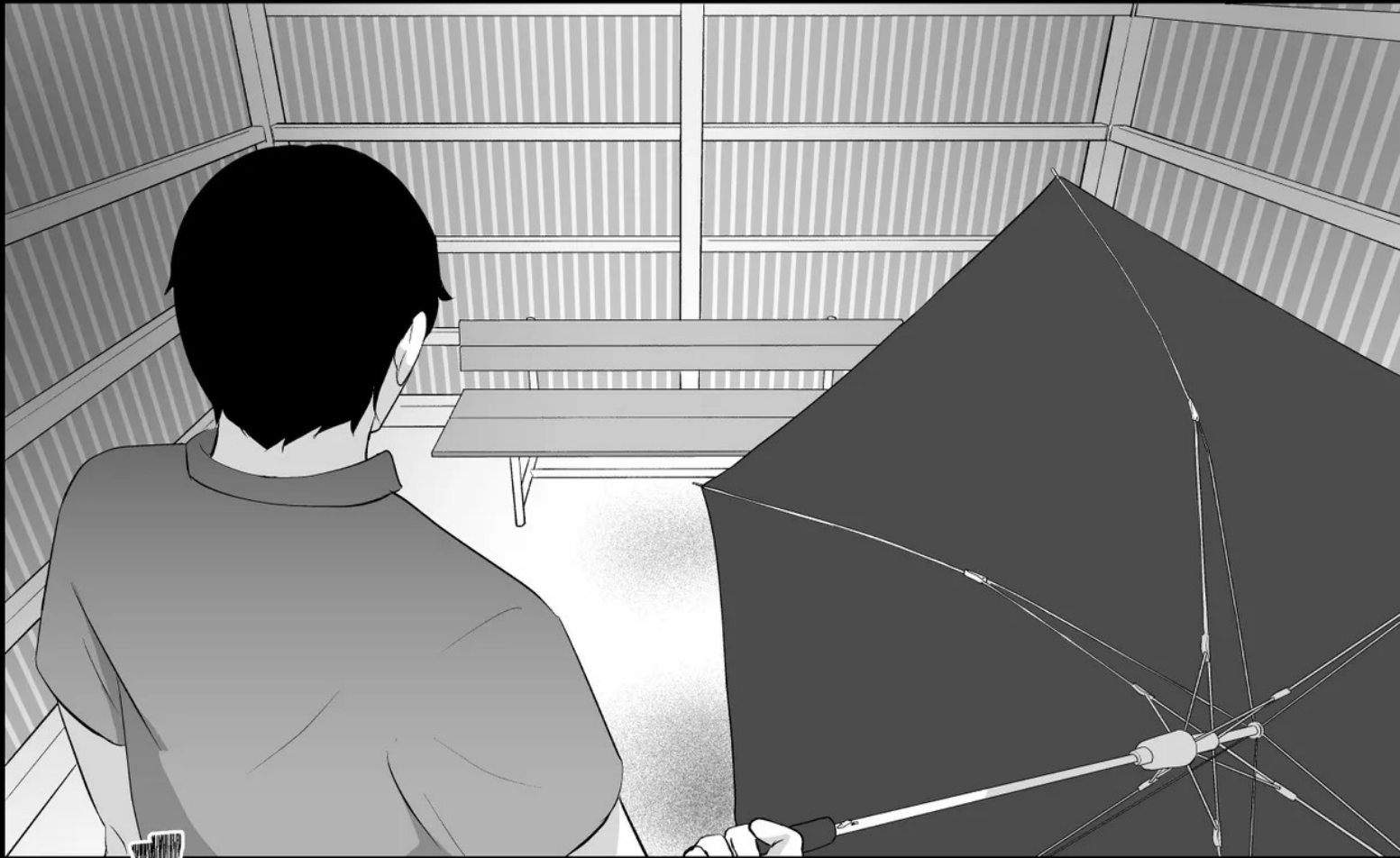


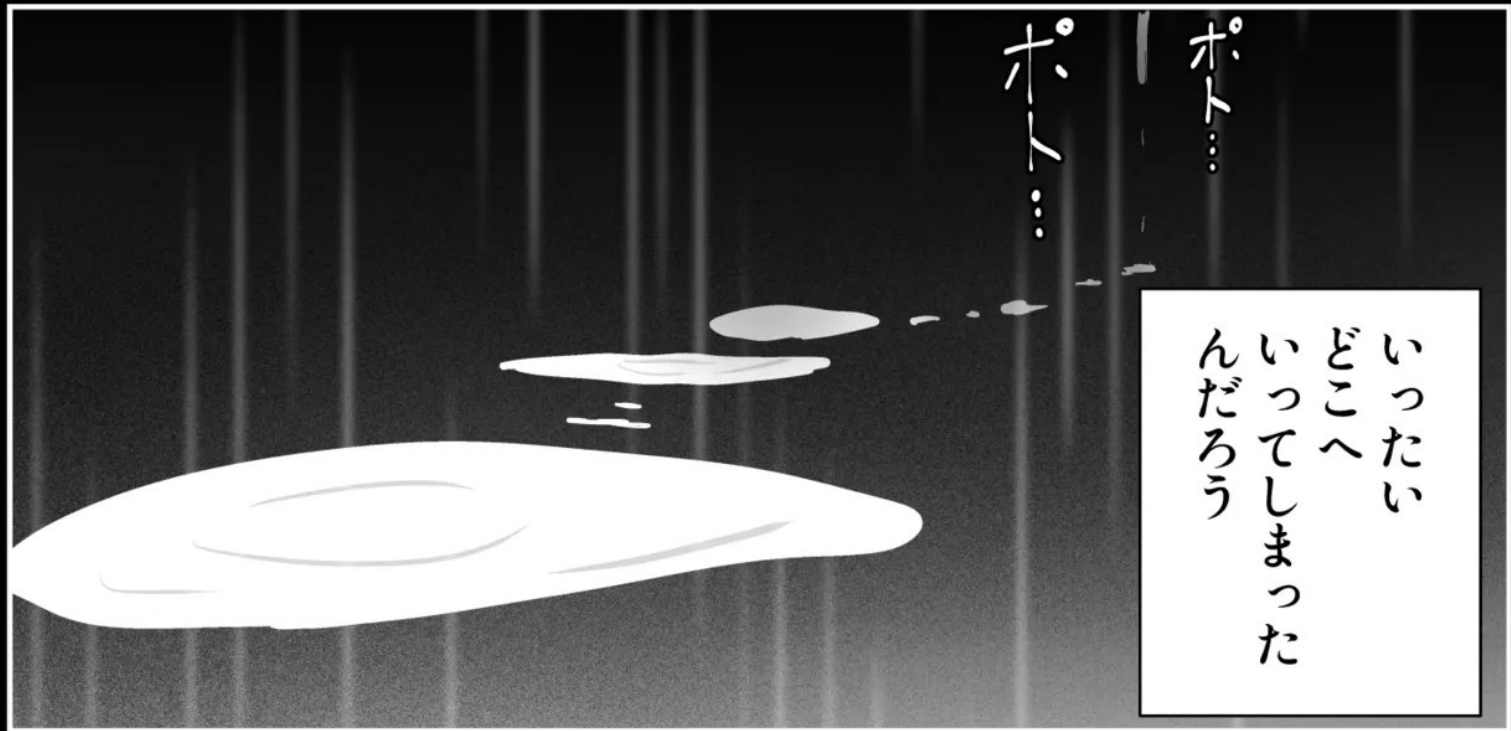


!! 彰子^{ショウウコ}









いっ
たい
どこ
へ
いっ
てし
まっ
た
ん
だ
ろ
う

終